



2018.3.1 ▶ 2018.8.31
第94期 中間報告書



地球温暖化防止への
イオンの挑戦



イオン株式会社

証券コード：8267

トップメッセージ

お客さま、地域社会に最も貢献する企業を目指し 絶えず革新し続けます。

取締役 代表執行役社長

岡田元也



株主の皆さまにおかれましては、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、相次ぐ自然災害により被災された皆さまにお見舞い申し上げます。被災された皆さまが、一日でも早く日常生活を取り戻すことができるよう、地域に寄り添った事業活動を推進するとともに、支援活動にも継続して取り組んでまいります。

さて、当社グループを取り巻く国内小売業の環境は、単身・共働き世帯の増加による食事の「つくらない化」や日常の買物における時間の短縮傾向、高齢化に伴う購買活動の変化、インターネット等を通じた価格・サービス比較の容易化等、消費行動に影響を与える大きな変化が起きています。このような状況のなか、当社は、飛躍的な成長を遂げるために策定した2020年に向けたイオングループ中期経営方針のなかで、リージョナル（地域）シフト、デジタルシフト、アジアシフト、それらに対応した投資のシフトを掲げ、変革への挑戦を加速しています。これらのシフトにより、グループ全体の事業構造を大きく変えることで、高い収益性を実現し強固なグループ経営基盤の構築を目指しています。

リージョナルシフトでは、お客さまのより豊かな生活の実

現に向けて、健康志向や低価格志向に対応したプライベートブランド（PB）の強化や食のSPA（製造小売）化を進めるほか、グループの中核であるGMS・SM事業の再編を通じた地域競争力の強化を推進しています。加えて、ディスカウントストア事業を確立し、競争力を高めてまいります。また、当期は、デジタルシフトを加速するため、米国ベンチャー企業への出資を行いました。今後も様々な協業先と協働することでグローバル水準の経営インフラを蓄積し、リアル店舗を持つ強みを活かすことで競争力を高めてまいります。成長著しいアジアにおいては、ドミナント体制の構築、PB商品の開発強化、サービスのさらなる充実等により競合他社との差別化を進めています。また、これらの改革を実現するため、これまでの店舗を中心とする投資からIT・デジタル・物流等の事業基盤の刷新に向けた投資へシフトを進めています。

このような方針の下、当第2四半期累計の連結業績は、利益の柱である総合金融、ディベロッパー、ヘルス&ウエルネスの各事業が引き続き好調に推移しました。またGMS（総合スーパー）事業では、既存店舗の活性化やトップバリュの販売強化による利益率の改善や生産性改善の取り組みが進み、営業損益が改善しました。国際事業においては、各国のお客さまニーズに対応した商品展開の強化や既存店舗の活性化等が業績改

善に寄与しました。その結果、連結業績は、営業収益4兆2,664億円（前年同期比102.3%）と8期連続で過去最高益を更新、営業利益は898億円（同105.7%）、経常利益は908億円（同106.2%）といずれも過去最高を更新し、親会社株主に帰属する当期純利益は105億円（同250.3%）となりました。

また、当社は、グループの成長と持続可能な社会の実現を両立させる「サステナブル経営」を追求しています。本年3月には、「イオン 脱炭素ビジョン2050」を策定し、「店舗」「商品・物流」「お客さまとともに」の3つの視点で取り組み、2030年度までに店舗で排出するCO₂排出量を2010年度比35%削減、2050年度までに総量でゼロにすることを宣言しました。店舗においては、最新の省エネルギー設備や太陽光発電システム等の再生エネルギー設備を導入した次世代型店舗の開発、商品ではPBの容器包装素材の変更、物流ではメーカーと共同で取り組むモーダルシフトの拡大、そして、お客さまとともに取り組む「買物袋持参運動」の推進によるレジ袋の削減など、原料の調達から製造、物流、販売に至るバリューチェーン全体で、お客さまやビジネスパートナーの皆さまと共に脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。

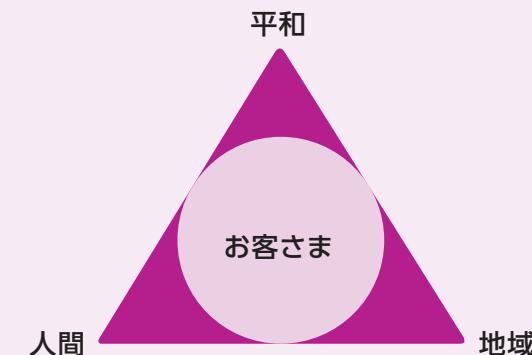
当社は創業以来、お客さま第一に徹し、お客さまをはじめ地域社会へ限りない貢献をすることで、小売業の永遠の使命であるお客さま満足を追求してきました。

これからも絶えず革新し続ける企業集団として、刻々と変化するお客さまのニーズや社会の変化・トレンドを先取りし、お客さま、地域社会に最も貢献する企業へと進化することで、より一層の企業価値向上を図ってまいります。

株主の皆さまには、今後も変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

イオンの基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。



イオン（AEON）とは、ラテン語で「永遠」をあらわします。私たちの理念の中心は「お客さま」：イオンは、お客さまへの貢献を永遠の使命とし、最もお客さま志向に徹する企業集団です。

「平和」：イオンは、事業の繁栄を通じて、平和を追求し続ける企業集団です。

「人間」：イオンは、人間を尊重し、人間的なつながりを重視する企業集団です。

「地域」：イオンは、地域のくらしに根ざし、地域社会に貢献し続ける企業集団です。

イオンは基本理念のもと、**絶えず革新し続ける企業集団として、「お客さま第一」**を実践してまいります。

地域インフラとして有事の際も頼れる防災モールの誕生

「イオンモールいわき小名浜」

地域の方々の安全・安心の拠点となる防災モールが、福島県いわき市に6月15日オープンしました。

当モールは商業施設であると同時に、地域の環境や特性に合わせて様々な工夫を取り入れ、生活・防災のフラッグシップ拠点としての機能を備えています。

災害時には、一時的な避難場所として周辺住民や近隣施設への来訪者の身を守り、物資の供給拠点として機能します。また、陸側と海側の両方からアクセスできる構造で、1階部分を全て駐車場として津波発生に備えた建物となっています。イオンでは今後こうした防災拠点を全国に広がっていきます。



CHECK!
1

“津波避難ビル”としての役割

津波による浸水被害を考慮し、1階部分をすべて駐車場としています。売場や重要設備類は、想定最大浸水の高さT.P. (※) 6.3mを上回る2階より上に配置しています。また、万が一の際は隣接するアクアマリンパーク側や市街地側にいる方々が、昼夜を問わず館内を通して安全に屋上まで避難できます。4階のイオンホールでは非常用電源で照明、空調、給水、コンセントが利用できるため、一時避難している方が休息できる場としても活用できます。



イオンホール

USBコンセント完備



誘導表示も多数設置



緊急時は昼夜を問わず通行可

(※) 東京湾平均海面 (Tokyo Peil) 全国の標高の基準となる海水面の高さ

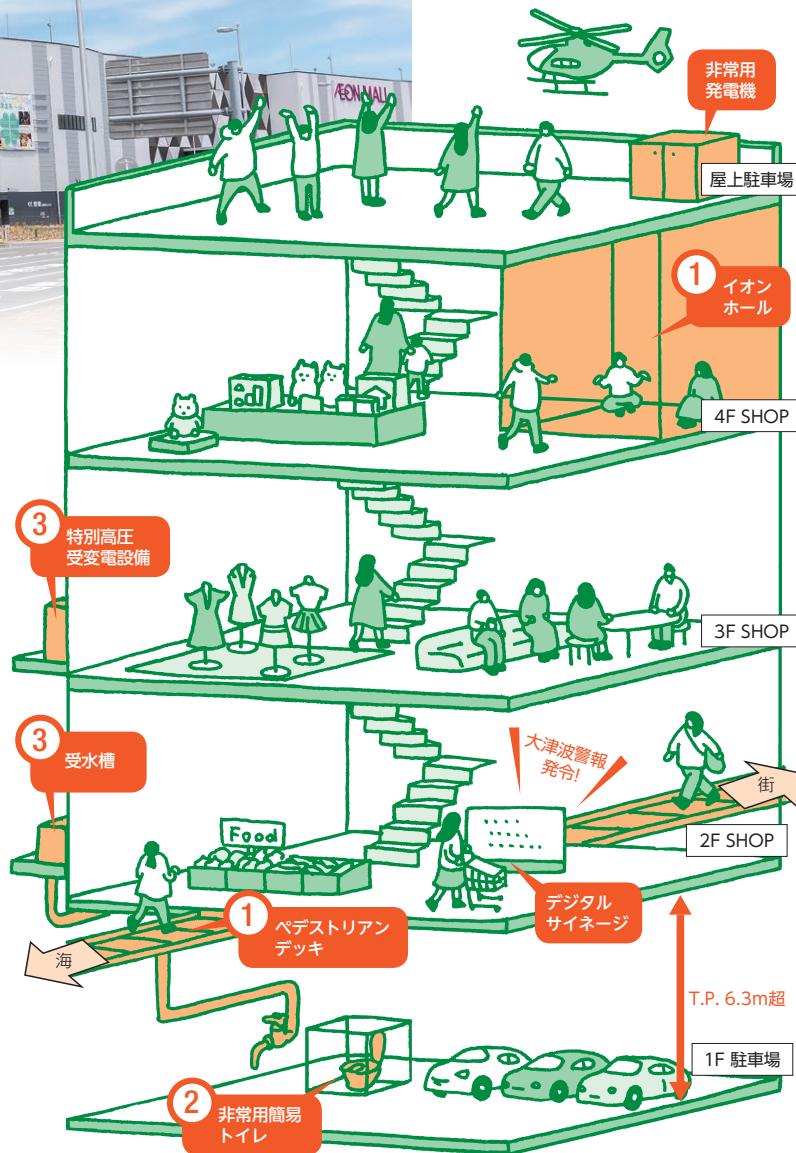
CHECK!
2

非常用給水栓、マンホール設置型トイレ

1階駐車場には、断水・停電状態であっても受水槽内の飲料水を利用できるよう非常用の給水栓を設置。また、マンホールに直接取り付ける仮設の簡易水洗トイレも設置が可能です。



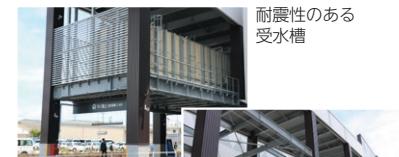
衛生面でも安心



CHECK!
3

復興拠点の機能を確保

津波被害を想定し、特別高圧受変電設備や受水槽、室外機などの重要機器を2階より上に設置。また、災害時は非常用発電機により防災センターやモール事務所などの主要管理室や、食品売場への電源供給を優先して行います。



耐震性のある受水槽

重要機器は2階より上に

2018.6.5 総合防災訓練レポート

「イオンモールいわき小名浜」のオープンに先立ち、総合防災訓練を実施しました。



避難誘導訓練



はしご車からの放水消火訓練



避難者一時受入用のパルーンシェルトターの展張



海上保安庁の巡視船を使った海上からの物資搬送訓練

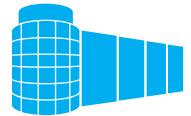


ヘリコプターの救出訓練

「イオン 脱炭素ビジョン2050」

イオンは「脱炭素社会」の実現を目指し、「イオン 脱炭素ビジョン2050」、および、中間目標として2030年の温室効果ガスの排出削減目標（2010年度比35%削減）を策定しました。店舗で排出するCO₂等を排出総量でゼロにすることを旨とし、店舗をご利用くださるお客さま、商品の製造、物流等、サプライチェーン全体に関わるお取引先さまをはじめ、すべてのステークホルダーの皆さまとともに、脱炭素化に取り組めます。世界的に脱炭素化の動きが高まるなかグループをあげて取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

イオンは、3つの視点で温室効果ガス（CO₂等）排出



店舗

店舗で排出するCO₂等を2050年までに総量でゼロにします。



商品・物流

事業の過程（商品・物流等）で発生するCO₂等をゼロにする努力を続けます。

削減に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献します。



お客さまとともに

すべてのお客さまとともに、脱炭素社会の実現に努めます。



具体的取り組みの一部をご紹介します

店舗 CO₂排出量50%削減*を目指す「次世代スマートイオン」の開発に着手します。 ※標準的な店舗との比較

これまでの環境配慮型店舗（スマートイオン）を脱炭素の視点で進化させ、LEDや空調をはじめとした最新の省エネ機器の導入等により省エネルギー化を推進。同時に太陽光発電設備の導入の推進や、外部から調達する電力を再生可能エネルギーに転換することでCO₂排出量を削減します。



2018年3月オープン「イオンモール座間」では1000KWの太陽光発電設備を導入

商品・物流 **お客さまとともに** パートナーやお客さまへCO₂削減の協力を働きかけるなど、バリューチェーン全体で脱炭素社会の実現を目指します。

■ CO₂排出量削減に貢献する商品の開発・販売

プライベートブランド商品の製造委託先さまに対するCO₂排出量削減目標の設定の要請や、CO₂排出量の削減に貢献する商品の開発・販売に取り組んでいます。



トップバリュ機能性インナー「ピースフィット」

■ モーダルシフトの推進

トラック輸送から鉄道輸送に切り替えるモーダルシフトでCO₂排出量を削減しています。また、「モーダルシフト研究会」を発足して、参加企業と共同で鉄道輸送の取り組みを研究し、CO₂排出量の削減を目指しています。



モーダルシフト研究会の専用列車

■ イオンの「COOL CHOICE」宣言

国が進める温暖化対策に向けて「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」の趣旨に賛同し、商品やサービスを通じて、お客さまに家庭での省エネや3R（リデュース、リユース、リサイクル）を呼びかけています。



ペットボトルをリサイクルして作ったマイバッグ ▲着なくなった服を回収し、リサイクル

グループトピックス

広島に“地域創生型商業施設” 「THE OUTLETS HIROSHIMA」開業

従来型モールとは全く異なる“地域創生型商業施設”「THE OUTLETS HIROSHIMA (ジ アウトレット 広島)」を4月にオープンしました。中四国最大級の約120のブランドショップが集結するアウトレットゾーンを中心に、地域産品を集めたショップを充実し、国内外の観光需要にも広く対応できる施設として地域経済の活性化に寄与します。



「デジタルシフト」加速に向け、 米国ベンチャー企業Boxedへ出資

グループ戦略のひとつである「デジタルシフト」を加速するため、米国ベンチャー企業Boxedへの出資を行いました。当社が有する高度に自動化された独自の物流システムや、テクノロジーを駆使したデータプラットフォーム（ビッグデータを活用したデータ分析・活用）のノウハウの習得、AIを活用した顧客一人ひとりへの商品提案のノウハウを幅広い分野で活用していきます。今後も国内外を問わず、様々な協業先と協働することでグローバル水準の経営インフラを蓄積し、デジタルとリアルの融合による強みを発揮することでお客さま満足の最大化を図ってまいります。

プノンペンに最新のエンターテインメントモール誕生！ カンボジア2号店「イオンモール セン ソックシティ」

カンボジア王国2号店「イオンモール セン ソックシティ」を5月にオープンしました。プノンペン中心部に位置し、エリア周辺ではディベロッパー数社が居住施設の開発を進めており、今後発展が期待できる立地環境です。同国初出店の43店舗を含む200超の専門店や流れるプールが楽しめる「ウォーターパーク」、大型室内遊園地などカンボジア最大のエンターテインメントモールとして発展していきます。



世界初となるウナギの FIP (漁業改善プロジェクト) を本格始動

6月に「イオン ウナギ取り扱い方針」を策定し公表しました。持続可能な裏付けのあるウナギの調達へのシフトを進めるため、「インドネシアウナギ保全プロジェクト」に取り組み、ウナギでは世界初となるFIPをインドネシアで本格的に開始します。資源の枯渇防止に貢献するとともに、日本伝統の食文化を次代に残すべく、持続可能な調達の実現をめざしています。イオンは事業活動を通じ、様々な環境・社会課題の解決に向けてこれからも積極的に取り組んでまいります。



友好・親善活動

「日中小大使10周年同窓会」を開催

アジアを中心とした国々と日本の高校生が相互交流する「ティーンエイジアンバサダー事業」は、日中両国の交流が10周年を迎えました。その記念事業として歴代の参加者を日本に招いて、「日中小大使10周年同窓会」を7月に開催しました。



第8回「イオン チアーズ クラブ全国大会」を開催

「イオン チアーズクラブ」は集団行動を通じて社会のルールやマナーを学びながら、環境への興味や関心、考える力を育む場として、全国の小中学生約7,700名が活動しています。今回、全国8エリアで開催した壁新聞の発表大会で選抜されたクラブが出場する全国大会を7～8月に沖縄と北海道で開催しました。



「アジアユースリーダー2018」をインドネシアで開催

日本を含むアジア各国の高校生が、開催地となる国の社会問題に関する視察や議論を通じ、問題解決力や自発的な行動力を高めるとともに、グローバル感覚を養い、価値観の多様性を学びます。

8月には、6か国85名の高校生がインドネシアのジャカルタに集結し、「食と健康」をテーマに体験学習やグループディスカッションなどを通じて考察を深めました。



※ 上記活動はいずれも公益財団法人イオンワンパーセントクラブが実施した活動です。

植樹活動

1991年から始まったイオンの植樹活動。世界各地の市民ボランティアの皆さまとともに、自然災害、伐採などにより失った森林の再生、地球温暖化防止、防災林の再生、水源涵養機能の向上などをめざし、植樹を行っています。



※ 上記の植樹活動はいずれも公益財団法人イオン環境財団が実施した植樹です。

連結営業収益が8期連続で過去最高となりました。

詳しい決算概況については、下記URLまたは右記QRコードより当社サイトをご覧ください。
<https://www.aeon.info/ir/>



連結要約損益計算書 (単位: 億円)

	前中間期 2017.3.1 ~ 2017.8.31	当中間期 2018.3.1 ~ 2018.8.31	前年比
営業収益	41,686	42,664	102.3%
営業利益	850	898	105.7%
経常利益	855	908	106.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	42	105	250.3%

事業のセグメント情報 (2018.3.1~2018.8.31) (単位: 億円)

	営業収益	営業利益
GMS事業	15,346	△58
SM事業	16,298	111
ヘルス&ウエルネス事業	3,948	136
総合金融事業	2,117	319
ディベロッパー事業	1,781	254
サービス・専門店事業	3,953	137
国際事業	2,204	5
その他事業	86	8
調整額	△3,075	△15
連結損益計算書計上額	42,664	898



GMS (総合スーパー) 事業

イオンリテール(株)は、4店舗を出店し、18店舗で活性化を実施。売価変更の削減やトップバリュ売上高の伸長による売上総利益率の改善、経費の効率的運用の推進により、営業損益は前年同期差で30億円を改善しました。イオン北海道(株)は、地域のお客さまのニーズを踏まえ魅力ある施設づくりに取り組んだほか、お買い物アプリやネットスーパーの店舗受取サービスを開始する等お客さまの利便性向上に努めました。



SM (スーパーマーケット) 事業

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)および同社連結子会社は、商品改革、ICT改革、コスト構造改革を引き続き推進しました。(株)マルエツでは、省力化施策としてセミセルフレジの導入拡大、(株)カスミでは3月よりイオンの電子マネーWAONの決済サービスを開始するなど、お客さまの利便性向上につとめました。マックスバリュ各社においては、地域特性に合わせた品揃えを強化しました。



ヘルス&ウエルネス事業

ウエルシアホールディングス(株)および同社連結子会社は、4月の診療報酬改定に伴う薬価引き下げによる影響もあるなか、既存店の改装等によりドラッグ&調剤・深夜営業・カウンセリング・介護を4つの柱とする「ウエルシアモデル」を積極的に推進。調剤併設店舗拡大やお客さまへの安心の提供と利便性向上を目的とした24時間営業店舗の拡大等の効果により、既存店の売上高が引き続き好調に推移しました。



総合金融事業

国内事業では、イオンクレジットサービス(株)がカード会員の入会及び利用促進企画を実施したほか、加盟店企業との連携による取り組みを推進しました。(株)イオン銀行では、国内営業基盤の強化を目的に昨年度実施したインスタブランチ全店直営化により、シームレスな金融サービスを提供したことで、外貨預金や住宅ローン等、預金や貸出金の残高は順調に推移しました。国際事業では、新しい顧客層の開拓に努め業容を拡大しました。



ディベロッパー事業

イオンモール(株)は、既存2モールの増床、5モールのリニューアルを実施しました。各モールではモールウォーキング等「ハピネスモール」の取り組みによるシニア層を含めた新たな顧客層の取り込みやローカリゼーションの推進を通じて集客力を強化しました。海外事業では、アセアンにおいて前連結会計年度までにオープンした全7モールで黒字化を達成し、中国でも同17モール中10モールで黒字化したことなどにより、同社海外事業の営業利益は黒字転換しました。



サービス・専門店事業

イオンディライト(株)は、施設とその周辺に「安全・安心・快適」な環境を提供することを使命とするファシリティマネジメント企業として各地域での災害発生時には、商業施設の早期営業再開に尽力しました。また人手不足が深刻化するなか施設管理業務の自動化や効率化を進め、生産性向上を図りました。(株)イオンファンタジーは、海外での新規出店に比べ既存店舗の活性化に積極的に取り組んだ結果、売上は過去最高となりました。



国際事業

イオンマレーシアは、消費税率変更にもなう販促を強化しました。イオンベトナムは、自社開発商品や海外輸入食品の拡大と共に販促を強化したことにより売上は好調に推移しました。中国においては、春節商戦に対する早期対応が奏功し好調に推移しました。またイオンストアーズ香港では、イオンスタイルへ全面活性化した旗艦店が好調に推移し香港における同社業績を牽引しました。

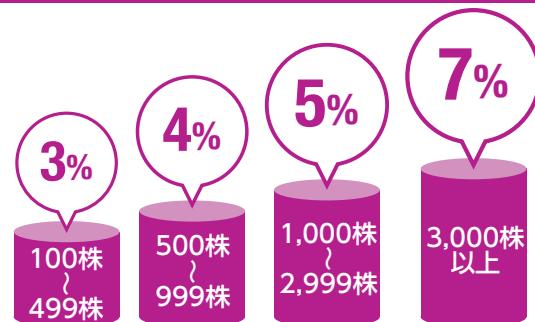
株主優待のご案内

AEON OWNER'S CARD

イオン オーナーズカード



持株数とご返金率



毎日のお買物がおトク！
3・4・5・7%のキャッシュバック

オーナーズカードをご提示いただき、現金、WAON（イオンの電子マネー）、イオンマークのカードによるクレジット払い、イオン商品券、イオンギフトカードでご精算いただくと、対象となるお支払金額合計に対し、ご所有株式数に応じた返金率をかけた金額を半期毎にまとめてご返金します。

- *半年で家族カードご利用分と合わせ最高100万円までのお買物がご返金対象になります。
- *ご利用の際は、必ずお支払いの前にオーナーズカードをご提示ください。
- *金券、ギフト券、イオンマークのカード以外のクレジット払いやWAONPOINT払い、その他各種ポイントでのお支払はご返金の対象になりません。

長期保有株主優待制度

3年以上継続し1,000株以上株式をご所有の株主さまにイオンギフトカードを進呈いたします。

*2月末日および8月末日の株主名簿に同一株主番号で7回以上連続して記載された株主さまが対象になります。

2月末時点保有株式数	ギフトカード金額	
1,000株～1,999株	2,000円	※毎年2月末時点で3年以上継続保有する株主さまに5月末頃発送
2,000株～2,999株	4,000円	
3,000株～4,999株	6,000円	
5,000株以上	10,000円	

※オーナーズカードのご利用いただける会社・利用方法、長期保有株主優待制度等株主優待制度に関して詳しくは、当社ホームページに掲載しております。

<http://www.aeon.info/company/yutai/>



AEON LOUNGE イオンラウンジ

オーナーズカードのご提示で全国189店舗のイオンラウンジをご利用いただけます。



- イオンラウンジは会員さまの共用のスペースです。静かな環境の維持にご協力をお願いいたします。
- ご用意できる席数は、1組あたり最大4席までとなります。ご同伴の方が会員資格証を別にお持ちの場合でもご合席にてご利用をお願いいたします。
- ご利用時間は、通常AM10:30～PM7:00（最終受付PM6:30）を標準としております。また、終了間際にご利用の場合は、ご利用時間を制限させていただきますので、あらかじめご了承ください。
- より多くのお客さまにご利用いただくため、ご利用資格カードを複数枚お持ちの場合でもお一人さま1日1回30分以内のご利用をお願いいたします。
- ご入室・ご退室は、同伴者さまがお揃いになってからご一緒をお願いいたします。
- 18歳未満の方のみでのご利用、または高校生以下のお客さまのみではご利用いただけません。
- ラウンジ内では試食品以外のご飲食はご遠慮ください。
- お子さまのご利用にあたっては、ご休憩中の他のお客さまへ十分にご配慮をお願いいたします。
- サービス内容に関しては、店舗により異なる場合がございます。各ラウンジ案内をご確認のうえご利用いただけますようお願いいたします。

- 【北海道】
 - 札幌桑園店
 - 札幌発寒店
 - 札幌元町店
 - 札幌苗穂店
 - 苫小牧店
 - 名寄店
 - 旭川西店
 - 旭川駅前店
- 【青森県】
 - 八戸田向店
- 【岩手県】
 - 盛岡店
 - 盛岡南店
- 【宮城県】
 - イオンタウン仙台泉大沢
 - 富谷店
 - 名取店
 - 石巻店
 - 仙台鉾町店
- 【秋田県】
 - 大曲店
 - 御所野店
- 【山形県】
 - 三川店
 - 天童店
- 【福島県】
 - いわき店
 - いわき小名浜店
- 【茨城県】
 - 水戸内原店
 - 下妻店
 - 土浦店
 - つくば店
 - 佐野新都市店
 - 小山店
- 【群馬県】
 - 高崎店
 - 太田店
- 【埼玉県】
 - 入間店
 - 川口前川店
 - 北戸田店
 - 羽生店
 - 浦和美園店
 - 与野店
 - レイクタウン店
- せんげん台店
- 大井店
- 春日部店
- 【千葉県】
 - 柏店
 - 鎌取店
 - マリンピア店
 - 幕張新都心店
 - 松本店
 - イオンタウンおゆみ野
 - 稲毛店
 - 鎌ヶ谷店
 - 津田沼店
 - 八千代緑が丘店
 - 館山店
 - 成田店
 - ボンペルタ成田店
 - 千葉ニュータウン店
 - 銚子店
 - 船橋店
 - 木更津店
- ダイエーいちかわコルトンプラザ店
- ユーカリが丘店
- 【山形県】
 - 南砂店
 - 東雲店
 - 品川シーサイド店
 - 板橋店
 - ザ・ビッグ昭島店
 - むさし村山店
 - 日の出店
 - 東久留米店
 - 多摩平の森店
 - 板橋前野町店
- 【神奈川県】
 - 大和鶴間店
 - 久里浜店
 - 茅ヶ崎中央店
 - 大和店
 - 秦野店
 - 座間店
- 【新潟県】
 - 新潟南店
 - 新潟青山店
 - 新潟田店
- 【富山県】
 - 高岡南店
 - となみ店
- 【石川県】
 - かほく店
 - 新小松店
- 【山梨県】
 - 甲府昭和店
- 【長野県】
 - 上田店
 - 松本店
- 【岐阜県】
 - 各務原店
 - 日根野店
 - りんくう泉南店
 - 茨木店
 - 新茨木店
 - 東岸和田店
 - 貝塚店
 - 四條畷店
 - 堺鉄砲町店
 - 清水店
- 【愛知県】
 - ワンダーシティ店
 - 高島店
 - ナゴヤドーム前店
 - 名古屋茶屋店
 - 新瑞橋店
 - 名古屋みなと店
 - 八事店
 - 伊丹店
 - 伊丹昆陽店
 - 神戸北店
 - ジェームス山店
 - 姫路大津店
 - 加西北条店
 - 春日井店
 - 高橋店
 - 常滑店
 - 長久手店
 - 豊田店
 - 豊橋南店
 - 【三重県】
 - 四日市尾平店
 - 東員店
 - 桑名店
 - 鈴鹿店
 - 【滋賀県】
 - 大津京店（旧西大津店）
 - 草津店
 - 【京都府】
 - 京都五条店
 - 洛南店
 - 高の原店
 - 久御山店
 - 京都桂川店
 - 【大阪府】
 - 大日店
 - 鶴見緑地店
 - 喜連瓜破駅前店
 - 大阪ドームシティ店
 - 堺北花田店
 - 日根野店
 - りんくう泉南店
 - 茨木店
 - 新茨木店
 - 東岸和田店
 - 貝塚店
 - 四條畷店
 - 堺鉄砲町店
 - 清水店
 - 登美ヶ丘店
 - 榎原店
 - 大和郡山店
 - 【和歌山県】
 - 和歌山店
 - 新瑞橋店
 - 猪名川店
 - 伊丹店
 - 伊丹昆陽店
 - 神戸北店
 - ジェームス山店
 - 姫路大津店
 - 加西北条店
 - 春日井店
 - 高橋店
 - 常滑店
 - 長久手店
 - 豊田店
 - 豊橋南店
 - 【鳥取県】
 - 鳥取北店
 - 日吉津店
 - 【島根県】
 - 松江店
 - 出雲店
 - 【岡山県】
 - 倉敷店
 - 津山店
 - 岡山店
 - 【広島県】
 - 宇品店
 - 広島府中店
 - 広島祇園店
 - 【徳島県】
 - 徳島店
 - 【香川県】
 - 高松店
 - 綾川店
 - 【愛媛県】
 - 新居浜店
 - 今治新都市店
 - 【高知県】
 - 高知店
 - 【福岡県】
 - 香椎浜店
 - 福岡伊都店
 - 筑紫野店
 - 福岡店
 - 八幡東店
 - 直方店
 - 大牟田店
 - 小郡店
 - 福津店
 - 【佐賀県】
 - 佐賀大和店
 - 【長崎県】
 - 大塔店
 - 【熊本県】
 - 熊本店
 - 【大分県】
 - パークプレイス大分店
 - 【宮崎県】
 - 延岡店
 - 宮崎店
 - 都城店
 - 【鹿児島県】
 - 鹿児島店
 - 始良店
 - 【沖縄県】
 - 那覇店
 - 南風原店
 - 具志川店
 - ライカム店

(2018年10月20日現在)

※特に名称を表記していない場合はイオンおよびイオンスタイルの店舗となります。

会社情報/株式情報

会社概要 (2018年8月31日現在)

社名	イオン株式会社 (AEON CO.,LTD.)
設立	1926年9月
事業内容	小売、ディベロッパー、金融、サービスおよびそれに関連する事業を営む会社の株式または持分を保有することによる当該会社の事業活動の管理
資本金	2,200億7百万円
本社	〒261-8515 千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1

取締役 (2018年8月31日現在)

取締役	横尾 博 (取締役会議長)
取締役	岡田 元也 (指名委員 報酬委員)
取締役	森 美樹
取締役	山下 昭典
社外取締役	内永 ゆか子 (指名委員会議長 監査委員)
社外取締役	長島 徹 (報酬委員会議長 監査委員)
社外取締役	塚本 隆史 (監査委員 報酬委員)
社外取締役	大野 恒太郎 (監査委員会議長 指名委員)
社外取締役	ピーターチャイルド (指名委員 報酬委員)

執行役 (2018年8月31日現在)

代表執行役社長	岡田 元也	グループCEO
代表執行役副社長	森 美樹	グループCOO
執行役副社長	山下 昭典	財務・経営管理担当
執行役副社長	若生 信弥	経営企画担当
執行役	吉田 昭夫	ディベロッパー事業担当
執行役	岡崎 双一	GMS事業担当
執行役	藤田 元宏	SM事業担当
執行役	羽生 有希	中国事業担当
執行役	柴田 英二	商品担当
執行役	鈴木 正規	総合金融事業担当
執行役	中山 一平	サービス・専門店事業担当
執行役	三宅 香	環境・社会貢献・PR・IR担当
執行役	小佐野 豪績	IT担当
執行役	渡邊 廣之	人事・管理担当 兼 リスクマネジメント担当
執行役	齊藤 岳彦	デジタル事業担当

株式の状況 (2018年8月31日現在)

発行可能株式総数	2,400,000,000株
発行済株式総数(自己株式を含む)*	871,924,572株
単元株式数	100株
総株主数	743,011名

*自己株式は、30,163,951株です。

大株主(上位10名) (2018年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	44,373千株	5.27%
三菱商事株式会社	40,422千株	4.80%
株式会社みずほ銀行	33,292千株	3.96%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	33,280千株	3.95%
公益財団法人イオン環境財団	21,507千株	2.56%
公益財団法人岡田文化財団	21,100千株	2.51%
農林中央金庫	18,133千株	2.15%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	14,643千株	1.74%
イオン社員持株会	12,830千株	1.52%
イオン共栄会(野村證券口)	11,976千株	1.42%

注：持株比率は、自己株式(30,163,951株)を除外して計算しています。

株主メモ

決算期	2月末日
基準日	期末配当、定時株主総会 2月末日 中間配当 8月末日 (その他必要がある場合には、あらかじめ公告いたします)
定時株主総会	5月末日までに開催
公告方法	電子公告 ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (アドレス) http://www.aeon.info/ir/
上場証券取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っています。

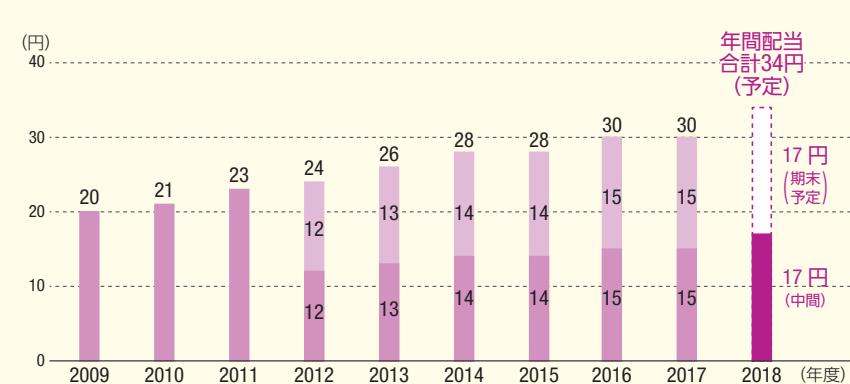
※住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座にて管理されている株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

※未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

2018年度 中間期の配当について

2018年10月10日の取締役会決議により、1株当たり普通配当17円とさせていただきます。期末配当金は、17円を予定しており、年間配当は、34円となる見通しです。
なお、中間期の配当金のお支払開始日は、2018年10月25日とさせていただきます。

年間配当金の推移(1株当たり)



イオンのWebサイトが新しくなりました

お得なショッピング情報からオンラインショップ、ニュースリリース、グループ企業紹介、環境保全・社会貢献活動までイオンのすべてがわかるホームページです。IR情報については、「株主・投資家の皆さま」にてご確認いただけます。
ぜひ、ご利用ください。



<https://www.aeon.info/>





「トップバリュ」から 国際オーガニック認証取得の スキンケア化粧品誕生

「トップバリュ グリーンアイオーガニック ジーオ オーガニクス」は
肌環境を整え、肌をやわらかくするオイルの働きに着目。
肌の悩みに合わせて選べるピュアオイルとスキンローションで整える
スキンケアをご提案します。

geo organics
ジーオ オーガニクス

GENTLE, EARTH & ORGANIC



【厳しい審査水準を持つ国際オーガニック認証を取得】

「ジーオ オーガニクス」は、原料から製造工程、包装資材、出荷までのあらゆる工程において環境に配慮してつくられたことを表す国際オーガニック認証を取得。使用される天然由来原料は、すべての生産工程において人や環境に配慮しています。「ジーオ オーガニクス」は石油系界面活性剤、合成香料、パラベン、フェノキシエタノール、シリコーン等の合成原料や、遺伝子組み換え作物からつくられた成分を使用していません。

- ① ピュアオイル …………… 1,800~2,000円
- ② スキンローション …………… 1,800円
- ③ 泡洗顔 …………… 1,500円
- ④ クレンジングミルク …………… 1,500円
- ⑤ クレンジングオイル …………… 1,500円

※価格は全て本体価格(税別)

※全国のイオン、イオンスタイルなど約450店舗で販売